

ジオパークだより



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization
UNESCO
Global Geopark
World Network
Global Geopark
UNESCO
Global Geopark
World Network

発行所
島原半島ジオパーク
協議会事務局
E-mail
info@unzen-geopark.jp
TEL
0957-65-5540
創刊 2017年12月1日

対話のチカラが、未来を創る！

2月23日と24日「島原半島にジオパークは必要か!？」と題し、ワークショップを開催しました。「相手の意見を否定しない」「話は最後まで聞く」という対話を重視するルールの下、参加者は自由な発想で、自分なりの関わり方を構築する機会となりました。

という問いに唯一の答えはない。考え続けることが大切」と説き、島原半島に大きな勇気と気づきを与えてくれました。福島先生、ありがとうございました。

講師の福島先生は、学者でもあり事業主でもあるため、複眼的に物事をとらえ、かつ難しい話を易しく伝えてくれました。さらに「挑戦に失敗はつきもの」という言葉や「『ジオパークとは?』



1分間ずつ意見交換するという対話形式で進む
=森岳公民館大ホール、島原市

溶ける大地と人々のつながり

2月28日〜29日、島原半島半島のサポーター14名が山口県吉野川秋吉台ジオパークを訪れ、住民の地産活動視察しました。

石灰岩が雨に溶けてできた鍾乳洞や、その石灰岩の上に造られた集落を歩き、地形を活かした先人の知恵を学びました。地域のひととの交流の場では、地域団体が、雲仙やまびこの会に触発されて作った紙芝居と、島原半島の郷土色豊かな紙芝居や民話を披露。互いの活動を讃え合いました。また、地域の特徴を活

かしたパン屋の取り組みや、湧水で養殖したニジマスを使った地元のお母ちゃんお手製ジオパーク、行く先々でジオパークを上手に活用している姿に刺激を受けました。



カルスト台地が一望できるカフェで交流会。
=カフェ「カルスター」/Mine 秋吉台 ジオパークセンター、山口県美祿市

ジオパークの取組み

【天草編】



海にうかぶ博物館 天草ジオパーク
学芸員 輪銅さん、事務局長 宮崎さん
(2018年2月来島)

★ジオパークのよさは? 大地の成り立ちを学ぶ日常の景色が特別なものに見える、地域愛が醸成されること。

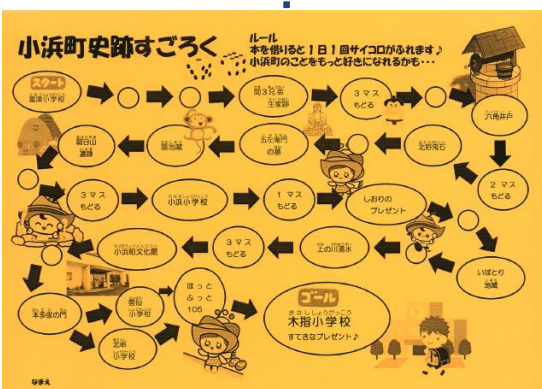
★日頃の取り組み 出前授業、ガイド育成、解説板の整備など。時間があれば、天草地域の学術研究や、自分の専門とする国内外の古生物学の研究を行っている。

★一押し活動 人気急騰の出前授業。学校への支援事業は急速に広まり、防災講座も要請が増えている。天草ジオパークの拠点施設「御所浦白亜紀資料館」の夏の特別展は必見◎



すぐろくでジオ!

子供たちにたくさん本を読んでもらい、地元を親しんでもらおうと、小浜町文化館が企画。史跡にはジオサイトも含まれゲーム感覚で学べます。



問合せ：雲仙市小浜町文化館図書室0957-74-3810

ジオ協会長、口加高校を訪問



2/5(月) ユネスコ世界GP再認定の喜びを分かち合いました!

韓国ジオチーム ジオグッズに夢中

2月21日〜22日、韓国で3地域目のユネスコ世界ジオパーク (UGG) 認定を目指しているムドンサンジオパークのメンバーが、ジオパーク関連グッズの視察のために来島し、半島内の店舗で様々なジオパークグッズを見学しました。チームリーダーのウ・ユエン氏は「UGG地域が行うべき役割を学んだ」とコメント。商品にジオパークのロゴやマスコットをつけると、販売



島原半島を堪能した一行!
= 垂木台地、島原市
促進に効果があることを実感しました。

島農生、“ジオパークブランド”を学ぶ



(一社) TAKARA MORI 大野氏の話をもとに
= レストランカフェ WaterForest、熊本県高森町

2月25日、昨年10月に開催した「高校生研究発表会」で優秀賞を受賞した島原農業高校の生徒5名が、阿蘇ユネスコを訪問し、ジオパークを活用した「唯一無二のモノづくり」に取り組む阿蘇ブランド認定企業に、商品開発のきっかけや苦労話などを伺いました。企業からは、元々ある地元の資源を磨き上げることが必要で、そのためには農家や自治体と対話を積み重ねることが重要と

「どがんか集会」ジオ友♪ ~島原半島 三銃士?!の集い~

「ジオパークで地元をどがんかせんば!」との思いから、1年半前から始まりました。3市の観光担当、島原半島観光連盟、ジオ協が集まり、事業を企画し実施しています。これまで、自分たちがまず半島のことを知るためにジオの恵みを楽しむ『現地のみゆう会』を開催し各市を周ったり、「観光のPRに使える面白いジオの写真があったらいいなあ」というアイデアからフォトコンテストを企画したりと、複眼的にジオパークをとらえる機会が増えました。出席者がざっくばらんに発言できるのも魅力です◎◎◎



集いの風景。各市役所の会議室を利用することも。= 島原市

ジオパーク検定、初の! 夫婦W合格

2月11日(祝)開催の検定に合格された、しまばら観光おもてなし課 班長 吉田修三さんにお話を伺いました。

- Q) 夫婦受験は、おススメ?
- A) おススメ! 夫婦一緒に温泉や食事など小旅行気分です島原半島を楽しめました。
- Q) 奥様が受験しようと思われたきっかけは?
- A) 観光担当の夫に半ば無理に誘われてセミナーに参加したのがきっかけ。ジオパークに目覚めてしまいました!
- Q) 受験してよかった~と思うことは?
- A) 何気なく見る日常の風景が、多少、楽しく見られるようになった(気がする)。
- Q) 受験を考えている方へメッセージ!
- A) テキストを読んで勉強するのも大切ですが、実際に風景を見たり食事を楽しんだりしながら、気軽な気分です島原半島の自然や歴史を感じてみてはいかがでしょうか。

火山からの贈り物♪ 島原半島 横断! 4種の温泉をめぐる



※HOTEL シーサイド島原での入浴券販売は、終了しています。
※伊勢屋旅館 H30.5.14~H31.8.31全館立替工事のため休業
「小さな地域で多様な泉質を愉しめるのは、とても珍しい! もっと地域の方や観光客に知ってもらいたい」と、半島内の4宿 (HOTELシーサイド島原、雲仙・小地獄温泉 青雲荘、雲仙 湯守の宿 湯元ホテル、小浜温泉 伊勢屋旅館) が、その魅力を紹介しています。入浴券が作られたのは8年前。宿泊客が購入したり、地元の方が気に入って再購入したり、宿泊特典としてプランに組み込んだりして活用しています。こんな楽しみ方ができるのも、橋湾から斜めに上がるマグマのおかげです♪